

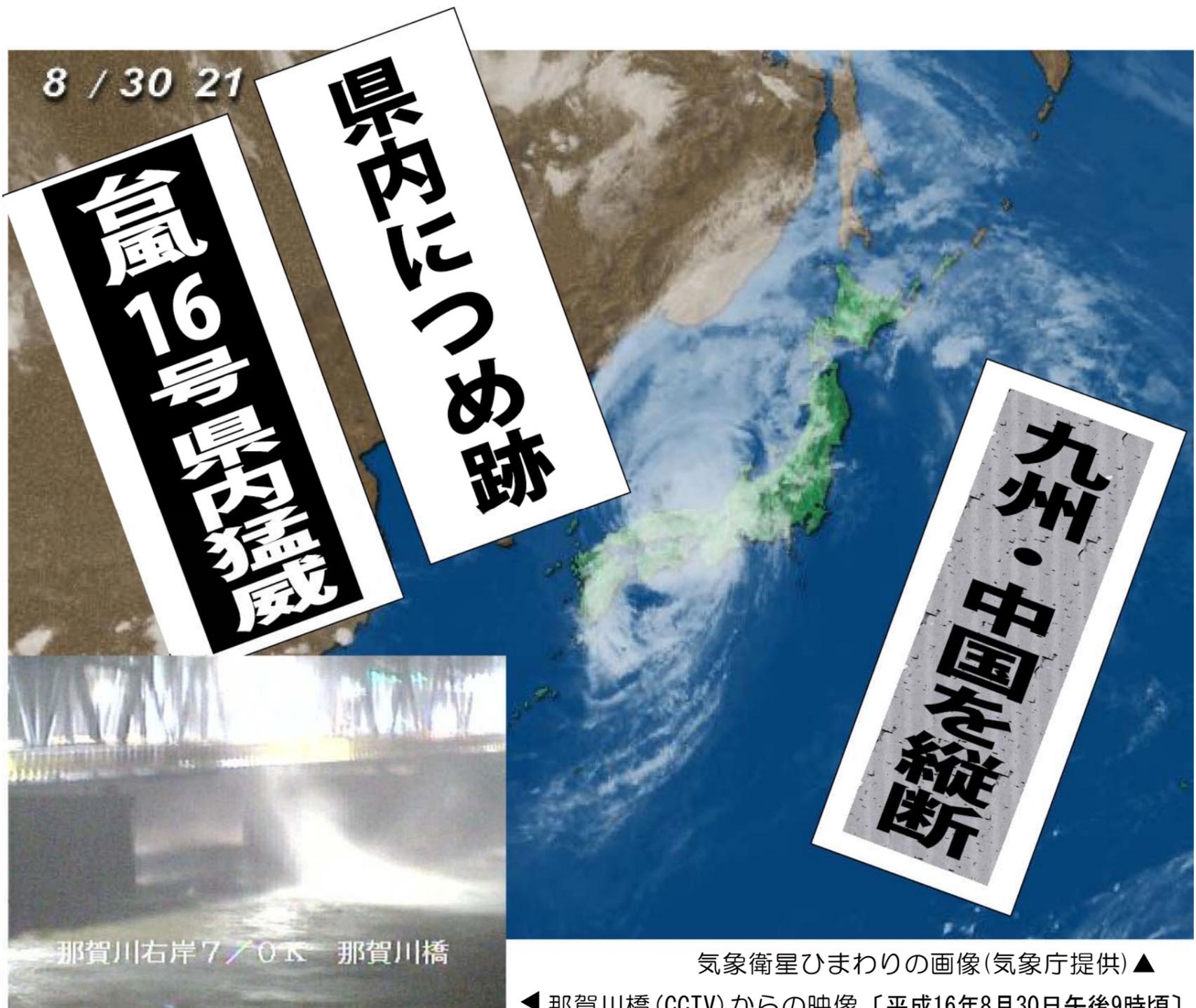
速報版

平成16年9月3日

平成16年

台風16号による那賀川下流の出水状況

— 暴風を伴った今年三度目の出水 —



気象衛星ひまわりの画像(気象庁提供)▲

◀ 那賀川橋(CCTV)からの映像〔平成16年8月30日午後9時頃〕

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

注) 本資料は那賀川本川下流についてとりまとめた資料です。また、資料における数値については、平成16年9月3日現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

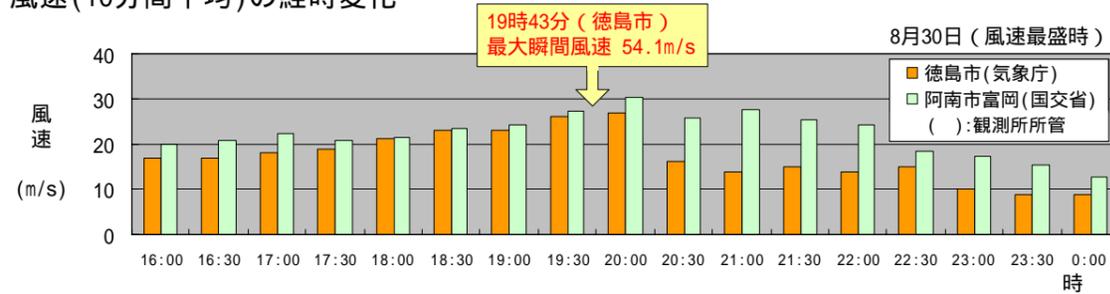
気象の概要 - 暴風の卓越した台風 -

平成16年8月19日午後9時にマーシャル諸島で発生した台風16号は、30日午前9時半ごろ、鹿児島県串木野市付近に上陸し、強い勢力(中心の気圧950ヘクトパスカル、中心付近最大風速40m/s)を保ったまま毎時約25kmで北上し、午後5時過ぎに山口県防府市付近に再上陸しました。その後、中国地方を北北東に進み午後10時ごろ鳥取県の沿岸からいったん日本海に抜けました。台風16号は日本海を北上した後、31日午後2時過ぎ、北海道苫小牧市付近に再上陸し、午後5時前オホーツク海へ抜け、そのまま北上を続け午後9時に温帯低気圧に変わりました。

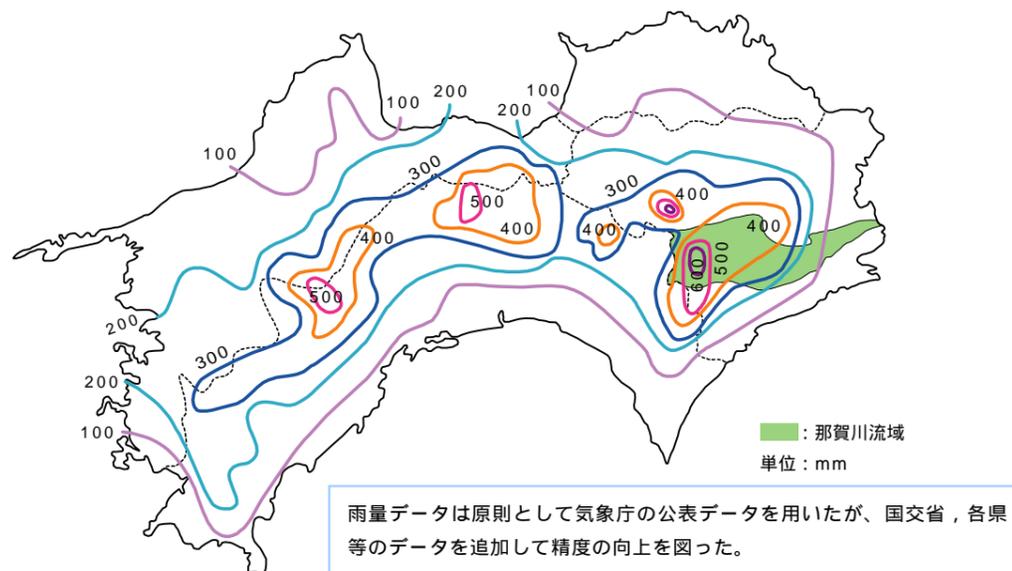
那賀川流域において8月28日午前7時頃から降り始めた雨は、29日正午頃に強まり、台風が接近した同日午後4時頃から午後9時頃までは、上流部で1時間あたり50～90mmの激しい降雨が続きました。那賀川流域上流の日早観測所〔四国電力(株)〕における総雨量(8月28日～8月30日の3日間)は、741mm(流域内最大値)でした。

今回の台風の影響により、那賀川下流域では、30日夕方から深夜にかけて、風速25m/s以上の暴風が吹き荒れました。なお徳島市では、午後7時43分に観測史上2番目の最大瞬間風速54.1m/sを記録しました。(気象庁発表)

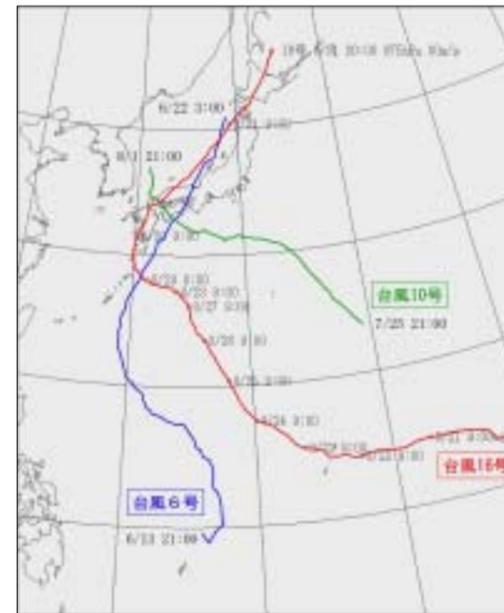
風速(10分間平均)の経時変化



台風16号等雨量線図〔総雨量：平成16年8月28日～8月31日〕



平成16年の主要台風進路図
(警戒水位を越えた三つの台風)

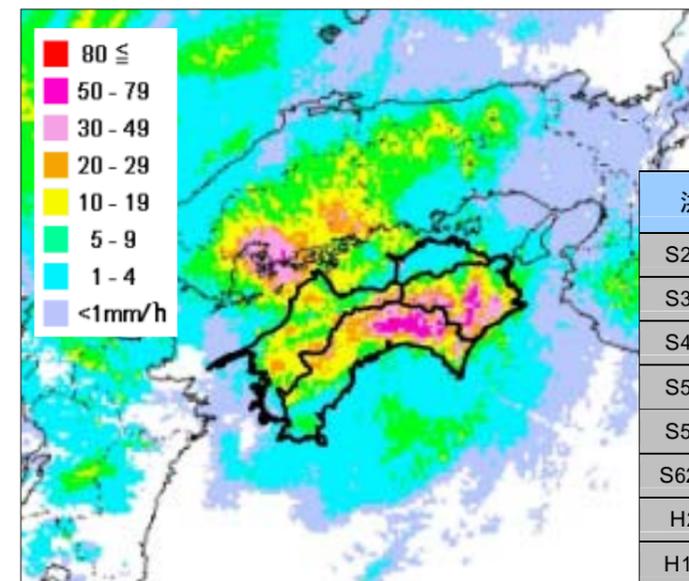


(気象庁発表)

台風16号経過一覧(8月19日～8月31日)

8月19日	21時00分	台風16号発生
8月30日	2時45分	大雨洪水警報発表(気象庁)
	9時30分頃	台風16号鹿児島県串木野市付近上陸
	18時40分	那賀川事務所 注意体制
	18時40分	水防警報(準備)発令
	18時50分頃	指定水位(3.50m)〔古庄〕
	21時30分	那賀川洪水予報(洪水注意報)発令
	21時40分	那賀川事務所 警戒体制
	21時50分頃	警戒水位(5.00m)〔古庄〕
	22時00分	水防警報(出勤)発令
8月31日	1時40分	最高水位(6.00m)〔古庄〕
	1時46分	大雨洪水警報解除(気象庁)
	5時10分	那賀川事務所 注意体制
	5時15分	水防警報(解除)発令
	5時30分	那賀川洪水予報(洪水注意報解除)発令
	11時50分	那賀川事務所 注意体制解除

降雨量実況図(気象庁提供)



平成16年8月30日午後7時

歴代の主要台風

洪水名	台風名	古庄地点流量(流量年表値)
S25.9洪水	ジェーン台風	注1)約9,000m ³ /s
S36.9洪水	第2室戸台風	約6,200m ³ /s
S46.8洪水	台風23号	注2)約7,300m ³ /s
S50.8洪水	台風6号	約7,600m ³ /s
S54.9洪水	台風16号	約6,000m ³ /s
S62.10洪水	台風19号	約5,000m ³ /s
H2.9洪水	台風19号	約7,100m ³ /s
H15.8洪水	台風10号	注3)約6,900m ³ /s
H16.6洪水	台風6号	注3)約4,900m ³ /s
H16.7洪水	台風10号	注3)約5,300m ³ /s
H16.8洪水	台風16号	注3)約5,400m ³ /s

注1)S25.9洪水は、洪水ピーク時の最高水位からの計算流量です。
 注2)S46.8洪水は、洪水ピーク時の観測値がないためピーク流量発生近傍時間帯での観測値です。
 注3)H15.8洪水、H16.6洪水、H16.7洪水、H16.8洪水は流量観測による速報値です。

那賀川の出水状況 - 今年三度目の警戒水位超過 -

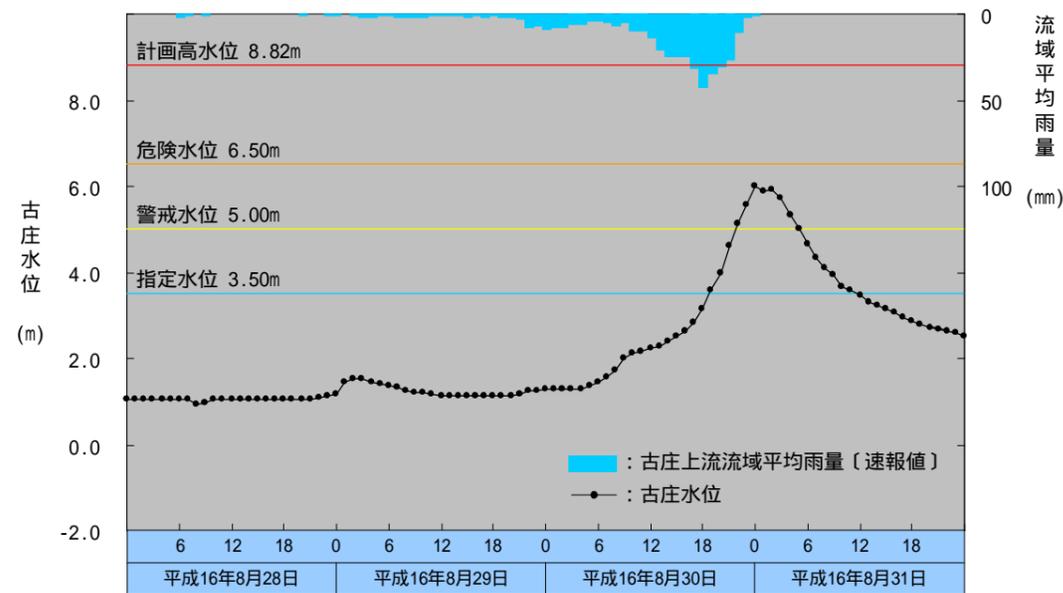
那賀川では、総雨量が中～上流域で500～700mm程度、下流域では100～300mm程度と激しい降雨を記録しました。

このため、那賀郡羽ノ浦町の古庄水位観測所(基準地点)では、30日午後9時50分頃に警戒水位を越え、31日午前1時40分には最高水位(6.00m)を記録し、最大流量は約5,400m³/s(注)に達しました。

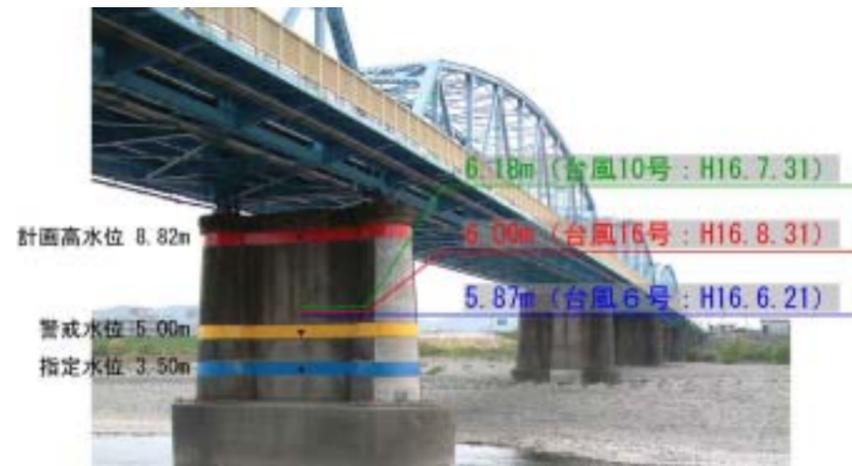
なお、古庄観測所の水位が警戒水位を越えるのは、今年に入って台風6号および台風10号に続き3度目となります。

注：流量観測による速報値

雨量・水位グラフ(平成16年台風16号)



那賀川橋における実績ピーク水位(平成16年)



被災状況 - 暴風による被害も発生 -

那賀川の直轄管理区間では無堤地区等の阿南市5地区(加茂、深瀬、吉井、楠根、持井)における浸水被害を始めとして、阿南市上大野地区では、先般の台風10号で月の輪工を実施した箇所において再度の堤体漏水、阿南市柳島地区では堤防のり面の部分崩壊、羽ノ浦町古庄地区では低水護岸の流出などが発生しました。また、洪水のほか暴風による災害として、流域内各所で停電被害が発生するとともに、阿南市横見地区では、水神社横の大木倒壊により堤防天端が欠損しました。



堤防のり面崩壊箇所

被災箇所位置図



応急復旧活動状況 - 迅速な応急復旧作業 -

8月31日午前0時30分頃河川パトロールの際に、右岸3k/8付近にある「横見の水神社」の大木倒壊による堤防天端(県道)の一部欠損(幅1m×深さ1m×長さ4m)を発見。那賀川事務所においては、関係機関と調整を図り、応急復旧作業に着手し、午前3時25分に作業を完了しました。



倒木前の状況



倒木の状況



応急復旧状況

浸水被害の状況 - 今年三度目の浸水被害 -

那賀川では、阿南市吉井地区を始めとした5地区で浸水被害が発生しました。5地区における被害状況は下表のとおりです。浸水面積の合計は約97.0haであり、最大浸水時間は約8時間に及びました。浸水家屋は発生しなかったものの、今年の台風6号および台風10号に引き続き、1年間に3回もの大きな浸水被害が発生しました。

平成16年の浸水被害状況

地先名	河口からの距離(km)	浸水面積(ha)			浸水時間(hr)			備考
		台風6号 (6月21日)	台風10号(注) (7月31日)	台風16号(注) (8月31日)	台風6号(注) (6月21日)	台風10号(注) (7月31日)	台風16号(注) (8月31日)	
加茂	17.0	25.4	約30.0	約28.0	約6	約20	約5	無堤地区
深瀬	16.4	2.3	約3.0	約3.0	約3	約7	約1	無堤地区
吉井	14.0	59.9	約61.0	約60.0	約6	約33	約7	無堤地区
楠根	13.0	13.1	約16.0	約3.0	約7	約30	約8	堤防締切地区
持井	11.0	1.7	約3.0	約3.0	約5	約35	約7	無堤地区
合計		102.4	約113.0	約97.0				

(注) 浸水面積・浸水時間：那賀川河川事務所調べ

■浸水区域図



那賀川・桑野川のこと

もっと知ってみませんか？

なかがわ流域
イベント情報 掲載中♪



那賀川河川事務所ホームページ

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/>

TEL (0884) 22-6461 FAX (0884) 22-7062

平成16年9月3日作成